真田氏三代 関連の歴史講座と現地見学

田氏の領国形成」 上田市にある上田



戦国大名真田氏の領国形成など について講演する唐澤定市氏

来年の NHK テレビ大河ドラマに関連して今、真田氏がブームになっています。今年は、そうした中、真田三代に関する歴史講座、ゆかりので、現地見学会を企画、実施してります。このうち4月18日には、第1回として中之条歴史と民俗の博物館「ミュゼ」顧問の唐澤定市氏が郷土資料館で「戦国大名真田氏の領国形などについて講演。5月23日には、城、同市真田町の真田氏館跡、長谷寺、

信綱寺などゆかりの寺、さらに砥石城などを、地元真田



渋谷浩氏の案内で正覚寺を見学する参加者

町の「語り部の会」のメンバーのガイドで見学しました。また、6月20日には、みなかみ町文化財調査委員会会長の渋谷浩氏の案内で、真田信幸の正室大蓮院殿(小松姫)の墓など

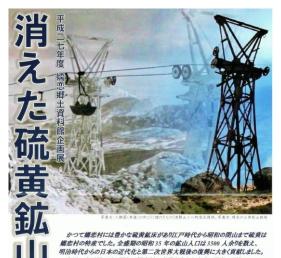


がある真田氏ゆかりの正覚寺や沼田真田氏の居城だった 沼田城址、また天桂寺、名胡桃城址など、戦国ロマンを求

めて真田氏ゆかりの地を訪ねました。なお、第4回は、9月26日に長野市松代町を訪ね、真田氏 宝物館、文武学校、松代城址、真田三代の墓地がある長国寺などを見学する予定になっています。

企画展「消えた硫黄鉱山」 =小串。吾妻。石津=

李泽南峰。



今回の企画展では、昭和の嬬恋村の産業を支えた小串、吾妻、石津の3つ

日本の近代化の一端を支えた硫黄鉱山。嬬恋村には、 小串・吾妻・石津といった硫黄鉱山があり、江戸時代から 昭和の閉山まで多くの硫黄を産出し、日本の近代化、特に 第二次世界大戦後の復興に多大な貢献をしてきました。今

回ここでは、嬬恋村の代表的な産業であった、小串・吾妻・石津の3つの硫黄鉱山を紹介しています。

